

県営土地改良事業 高柳の池地区

緊急防災工事計画書

(農業用排水施設)

埼玉県

目		目
第1章	目 的 -----	1
第2章	地域及び地積 -----	1
第1節	地 域 -----	1
第2節	地 積 -----	1
第3章	現 況 -----	2
第1節	気象及び海象 -----	2
1	一般気象 -----	2
2	特殊気象 -----	2
第2節	土地状況 -----	3
1	地形、土壌及び侵食の程度 -----	3
2	土地分類 -----	4
3	土地利用の状況 -----	4
4	土地所有の状況 -----	5
第3節	水利状況 -----	6
1	用水状況 -----	6
2	排水状況 -----	9
3	河川状況 -----	9
第4節	道路概況 -----	9
第5節	地域農業の概況 -----	10
1	産業別就業人口 -----	10
2	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに 専兼業別農家数 -----	10
3	動力農機具及び主要家畜頭数 -----	10
4	主要作物作付状況 -----	11
5	農業の動向 -----	12
第6節	地域環境の概況 -----	13
1	環境に関する地区の概要 -----	13
2	環境に関する基本的な考え方 -----	13
3	自然環境及び社会環境 -----	13
第4章	一般計画 -----	14
第1節	事業計画の要旨 -----	14
1	要 旨 -----	14
2	事業別面積 -----	14
第2節	営農計画及び土地利用計画 -----	15
1	営農計画の概要 -----	15
2	土地利用区分 -----	15
3	作付方式 -----	15
4	生産計画 -----	15
5	労働改善計画 -----	15
第3節	用水計画 -----	16

次		次
1	計画基準年 -----	16
2	計画かんがい方式 -----	16
3	計画用水系統 -----	16
4	水源計画 -----	16
第4節	排水計画 -----	18
第5節	道路計画 -----	18
第6節	農用地造成計画 -----	18
第7節	洪水調節計画 -----	18
第8節	干拓計画 -----	18
第9節	農用地整備計画 -----	18
第10節	ため池改修計画 -----	19
1	堤体補強計画 -----	19
2	取水施設改修計画 -----	19
3	洪水吐改修計画 -----	19
4	管理施設改修計画 -----	20
第5章	主要工事計画 -----	21
第1節	用水施設 -----	21
第2節	排水施設 -----	21
第3節	道路及び索道 -----	21
第4節	農用地造成 -----	21
第5節	洪水調節施設 -----	21
第6節	干拓施設 -----	21
第7節	農用地整備施設 -----	21
第8節	ため池改修施設 -----	22
1	貯 水 池 -----	22
2	堤体補強施設 -----	22
第6章	附帯工事計画 -----	23
第7章	工事の着手及び完了の予定時期 -----	23
第8章	環境との調和への配慮 -----	24
第1節	環境配慮する地域の状況 -----	24
1	広域的な環境特性 -----	24
2	地域の状況 -----	24
第2節	環境配慮目標及び基本的な考え方 -----	24
第3節	環境配慮の整備内容 -----	24
第9章	換地計画の概要 -----	24
第10章	事業費の総額及び内訳 -----	25
第11章	効 用 -----	26
第12章	関連する事業 -----	26
第13章	現況・計画図面 -----	26

第1章 目的

本地区は本庄市の南部に位置し、一級河川利根川の上流に位置する農業用ため池である。かんがい受益面積は5.0 ha（水田）で、この池を水源としている。

高柳の池は、地震や豪雨により損壊すると周辺地域に甚大な被害が想定される農業用ため池であるため、防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法における「防災重点農業用ため池」に位置づけられている。築造年代は大正時代で、平成7年から平成10年にかけて小規模な改修を行っているが、東日本大震災を受けて行われたため池耐震点検調査の結果、堤体の安定計算で所定の安全率を満足せず、更に非常時の緊急放流機能が不十分であることが判明した。また、洪水吐の能力も不足しており、豪雨時に溢水の危険性も高まっている。

そのため、地震、豪雨対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保を図り、もって災害に強い農村づくりを推進する必要がある。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	本庄市児玉町高柳地内

第2節 地積

(令和7年6月現在)(第2表)

事業名	現況地目		田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名								
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	本庄市		5.0	—	—	—	—	5.0	農地台帳

第3章 現 況
第1節 気象及び海象
1. 一般気象

(第3表)

観測所名	熊谷气象台	かんがい期間(214日)	非かんがい期間(151日)	計又は平均	備 考
観測期間	昭和元年～令和6年	4月～10月	11月～3月		
平均気温 (°C)		19.5 °C	5.8 °C	12.7 °C	
降水量	平均 (mm)	1,036.8 mm	215.9 mm	1,252.7 mm	
降水日数	平均 (日)	87.3 日	27.7 日	115.0 日	
根 雪 期 間		-			
無 霜 期 間		-			
最 多 風 向		WNW	最大風速 (風向)	22.8 m/s (WNW)	最多風向発生時期 通年 最大風速発生年月日 昭和41年9月25日

2. 特殊気象

(第4表)

観測所名 熊谷气象台	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 昭和元年～令和6年																
最大日雨量 (mm)	301.5	S57.9.12	1/62	292.4	S22.9.15	1/54	277.2	S33.9.26	1/42	267.1	S41.6.28	1/36	255.1	S16.7.22	1/29	
最大時間雨量 (mm)	88.5	S18.9.3	1/62	85.0	S51.6.15	1/47	84.6	S2.7.31	1/46	76.0	H7.8.22	1/24	75.8	S30.7.22	1/23	
最大4時間雨量 (mm)	174.5	S57.9.12	1/567	128.2	S22.9.15	1/44	118.0	S18.9.3	1/25	115.0	H29.10.23	1/22	114.0	S51.6.15	1/21	
最大2日連続雨量 (mm)	350.0	S57.9.11~12	1/82	339.8	S22.9.14~15	1/69	306.3	S33.9.25~26	1/39	279.6	S16.7.21~22	1/25	268.1	S41.6.27~28	1/20	
最大連続干天日数 (日)	135.0	S18.10.21 ~S19.3.4	1/825	109.0	H15.12.1 ~H16.3.19	1/146	100.0	S15.12.1 ~S16.3.11	1/79	89.0	H7.11.20 ~H8.2.17	1/37	87.0	S3.12.4 ~S4.3.1	1/32	

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第5表)

地目	田						畑								受益地標高 (TP+m)		備考
	1/1000 以下	1/1000 ~1/500	1/500~ 1/300	1/300~ 1/100	1/100 以上	計	3° 以下	3° ~8°	8°~15°			15° ~20°	20° 以上	計	最高	最低	
面積 (ha)	-	-	-	-	5.0	5.0	-	-	-	-	-	-	-	0.0	117.0	105.0	上流から最下流までの距離 1000m
比率 (%)	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-	-	

(第6表)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備考
	土 壤 断 面								堆 積 様 式	母 材	事 業 名			
	色	腐 植	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性			泥 炭 層 黒泥層及び グライ層			農 村 地 域 防 災 減 災	計		
					表 土	下 層 土								
				一層	二層	三層								
仁手統	Y/Y	なし	なし	あり	壤質~ 粘質	壤質~ 強粘質	-	-	水積	非固結 水成岩	5.0		5.0	

土地分類基本調査 高崎・深谷 (1978)

2. 土地分類(農用地造成の場合のみ記入)

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和7年6月現在)

(第7表)

事業名	土地利用別 市町村別	耕 地							山 林		採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)						
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため 池緊急整備事業)	本 庄 市	5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.0	農地台帳
合 計		5.0												5.0	

4. 土地所有の状況

(令和7年6月現在) (第8表)

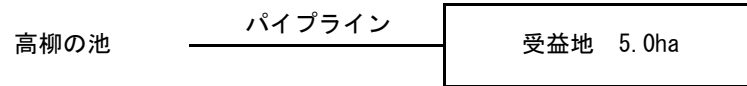
事業名	所有別	個人所有	町所有	国所有	その他	計	備考
	区分						
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池 緊急整備事業)	面積 (ha)	5.0	—	—	—	5.0	農地台帳
	受益者数 (人)	25	—	—	—	25	
	筆数 (筆)	30	—	—	—	30	
	権利関係	所有権	—	—	—	—	
	備考(関係戸数)	25	—	—	—	25	

第3節 水利状況

1. 用水状況

当ため池よりパイプラインにより用水を供給している。

(1) 用水系統



(2) 用水施設

(7) 取水方法一覧表

(第9表)

項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権 (地下水)		延べ取水量 m3/s	備考
	500 ha以上		500~ 100ha		100 ha未満		箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s		
貯水池	—	—	—	—	1	5.0	1	5.0	—	—	—	—	—	
井堰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
自然取入口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
揚水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	—	—	—	1	5.0	1	5.0	—	—	—	—	—	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第10表)

項目 施設名	施設名又は箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備考
貯水池	高柳の池	5.0	アースダム 傾斜遮水ゾーン 型	堤高 9.20m 堤長 93.0m	最終更新 平成10年	地震・豪雨時に堤体の決壊が予想される。	管理者 金屋水利組合
井堰	—	—	—	—	—	—	
自然取入口	—	—	—	—	—	—	
揚水機	—	—	—	—	—	—	
用水路	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	
計		5.0					

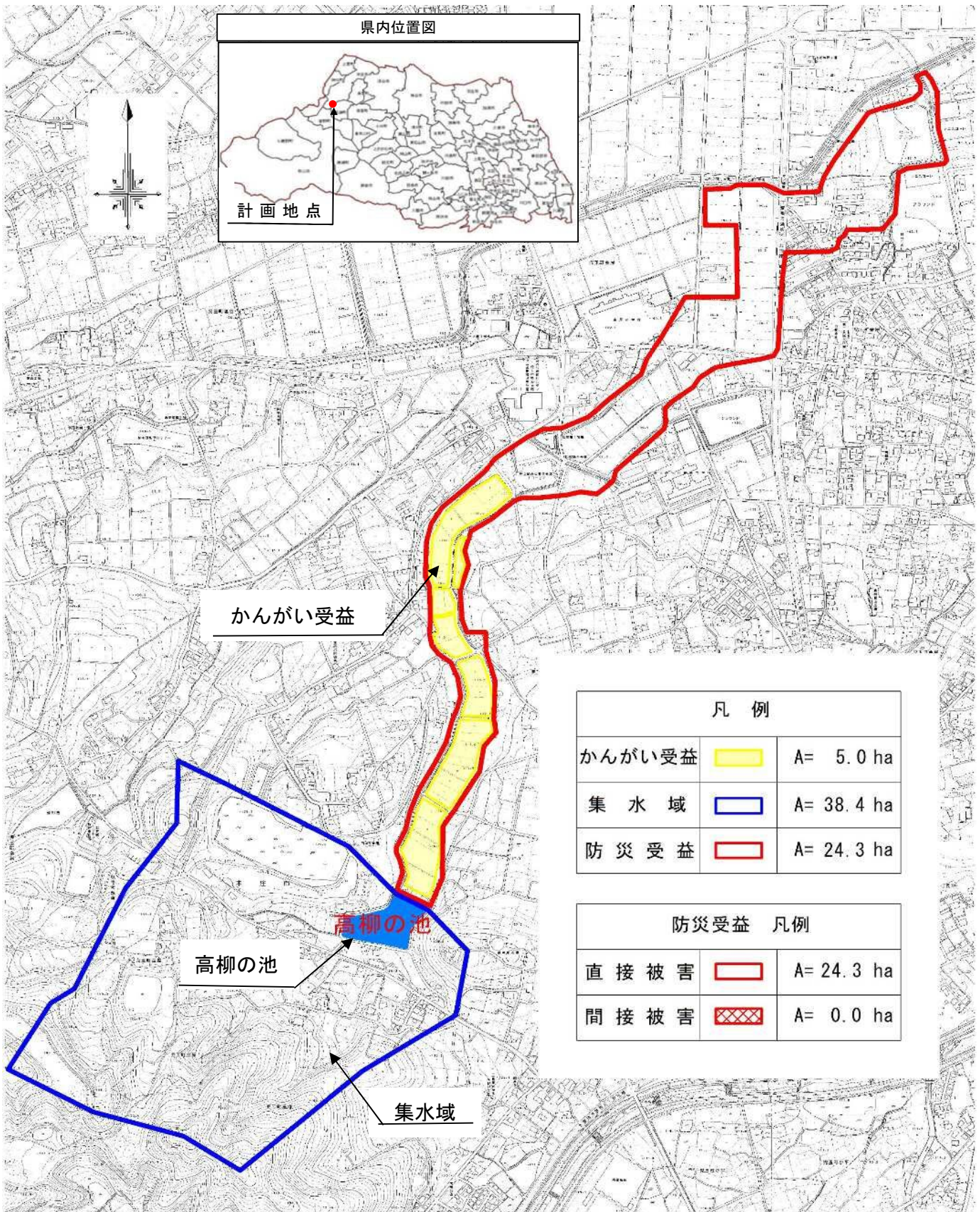
(3) 用水に関する被害状況 該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第11表)

想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備考
水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
10.4	1.5	12.4	24.3	6,356	170,632	178,836	231,935	85,585	673,344	

埼玉県本庄市 高柳の池地区 位置図



2. 排水状況

(1) 排水系統

高柳の池 →

女堀川

(2) 排水施設

(7) 排水方法一覧表

省 略

3. 河川状況

(1) 河川状況

省 略

第4節 道路概況

省 略

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

単位：人（第12表）

市町村名	項目	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給水道業	運輸 通信業	卸売 小売 業 飲食店	金融 保険業	不動産業	サービス業	公務	その他	備考
計	38,002	1,747	6	2	7	2,530	9,829	91	2,528	5,548	533	535	12,192	985	1,469		
比率 (%)	100.0	4.5	0.1	0.1	0.1	6.7	25.8	0.2	6.7	14.5	1.4	1.4	32.0	2.6	3.9		

（令和2年国勢調査 就業状態等基本集計：埼玉県）

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

（第13表）

市町村名	農 家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)							1戸当平均農用地面積(ha)					耕地の分散 状 況		専業別農家数(戸)		備 考		
		例外規定の適用を受けるもの	0.5ha 未満	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1団 戸地 当数	団面 地積 当ha	専 業		兼 業	
																			第1種	第2種
本 庄 市	653	7	103	210	194	52	38	49	2.6	1.5	0.3	4.4	-	4.4	-	-	-	-	-	
計	653	7	103	210	194	52	38	49	2.6	1.5	0.3	4.4	-	4.4						
比率 (%)	100.0	1.1	15.8	32.1	29.7	8.0	5.8	7.5	59	34	7	100	-	100						

（2020農林業センサス）

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

（第14表）

市町村名	トラクタ		動力農機具 (台,戸)				主要家畜 (頭,戸)										備 考
	数量	戸数	防除機		コンバイン		田植機		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
			数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	
本 庄 市	954	633	-	-	238	212	331	318	957	14	-	-	2,860	3	2,887,100	6	
計	954	633	-	-	238	212	331	318	957	14	-	-	2,860	3	2,887,100	6	
100戸当数量 (台,頭)	151		-		112		104		6,836		-		95,333		48,118,333		
利用戸数の割合 (%)		97		-		32		49		2		-		1		1	

（2020・2015農林業センサス）

※ 2020農林業センサスから動力農機具の記載がなくなったため、動力農機具については2015農林業センサスの数値を採用している。

4. 主要作物作付状況

(第15表)

市町村名		本庄市		作付率	備考
総本地面積		1,884			
総耕地面積		1,900			
作物名	区分	作付面積 (ha)	単収 (kg/10a)		
	水稻		483	470	26.0%
市町村延作付率(%)		-		26.0%	

5. 農業の動向 本庄市全体

(第16表)

項目 区分	農家数(戸)			土地利用(ha)			主要作物(ha)			大家畜(頭)			動力農機具(台)			地域 指定等	備考					
	C H22	B H27	A R2		C H22	B H27	A R2		C H22	B H27	A R2		C H22	B H27	A R2			農機 具名	C H22	B H27	A R2	
変化の 状況	総農家数	978	770	653	耕地	1,580	1,626	1,874	水稲	370	414	448	乳用牛	1,224	847	957	トラクター	1,212	954	-	A：令和2年 (2020 農林業センサス) B：平成27年 (2015 農林業センサス) C：平成22年 (2010 農林業センサス)	
	専業農家数	401	375	-	田	664	699	984	麦類	1,067	917	1,072	肉用牛	739	-	-	田植機	450	331	-		
	第1種兼業農家数	231	174	-	畑	907	922	886	野菜類	521	458	538	豚	3,598	3,587	2,860	自脱型 コンバイン	308	238	-		
	第2種兼業農家数	346	221	-	樹園地	9	5	4	花き・ 花木類	-	-	-	-	-	-	-	-	防除機	-	-		-
	農業従事者数	1,941	1,505	1,142	-	-	-	-	豆類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
変化の 理由	社会経済の変化に伴う総農家数の減			田んぼとして利用している耕地の増 畑・樹園地として利用している耕地が減			作付転換等による作物の増			畜産農家数の増に伴う乳用牛の増 畜産農家数の減に伴う肉用牛と豚の減			農家数の減に伴う動力農機具の減									

2010, 2015, 2020年農業センサス 県統計書より

※1 2020農林業センサスから専業農家数、第1種兼業農家数、第2種兼業農家数、動力農機具の記載がなくなったため「-」と記載している。

第6節 地域環境の概況

1 環境に関する地区の概要

小山川・女堀川沿いの水田地帯である。高柳の池は本庄市の南西部に位置し、周辺は緑豊かな自然環境に恵まれている。

2 環境に関する基本的な考え方

本地区は、本庄市田園環境整備マスタープラン（平成25年策定）において、「環境配慮区域」に位置付けられており、環境に配慮した土地改良施設整備が必要とされている。

3 自然環境及び社会環境

(ア) 自然環境

(第17表)

項目	概要
気 候	冬は乾燥し晴天が多く、夏は日中の最高気温がかなり高くなり、蒸し暑く、夕方には雷雨が多くみられる。
地 形	平坦で安定した地盤を有しており、北部の利根川沿いには肥沃な沖積平野が広がり、南西部は陣見山などの500m級の山々が連なる山林地である。
地 質	松久丘陵の北部に発達する本庄台地であり、水田や畑地帯は基盤である礫層上に関東ローム層が覆っている。
水 環 境	南北から東北に流れる神流川、女堀川、小山川、志戸川などが流れており、山間部では自然の谷をせき止め多くのため池が築造されている。
動 植 物	希少な動植物は確認されていないが、山間地帯の多くは、自然公園に指定されていることから野生生物の豊富な地域である。
景 観	児玉町を流れる小山川河畔の両側では春には桜が咲き誇り、4月上旬には、こだま千本桜祭りが開催される。

(イ) 社会環境

(第18表)

項目	本庄市			
観光資源	こだま千本桜			
歴史・文化	長泉寺			

(ウ) その他

(第19表)

項目				

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

高柳の池に流入する用水等は無く、ため池の取水源は降雨及び集水域からの流入水を高柳の池に貯留し、かんがい用水として利用されている。

調査を行った結果、堤体等の耐震耐性及び豪雨耐性の不足が確認されたことから、決壊した場合には、甚大な被害をもたらすことが想定される。

このため、ため池の耐震・豪雨対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全を図り、もって災害に強い農村づくりを目指す。

2. 事業別面積

(第20表)

土地利用区分 事業目的	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (畑) (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
農業用排水施設	5.0	—	—	—	—	5.0	農地台帳
計	5.0	—	—	—	—	5.0	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

農業・農村の有する多面的機能の発揮に努め、農業生産に必要な優良農地を営農に適した良好な状態で確保しつつ農地の有効利用を図る。

2. 土地利用区分

(第21表)

土地利用区分	水田 (ha)	輪換 耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑畑 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
現況	5.0	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	5.0	
計画	5.0	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—	5.0	

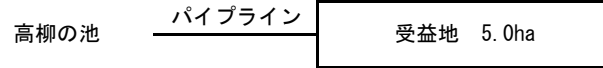
3. 作付方式 省略

4. 生産計画 省略

5. 労働改善計画 省略

第3節 用水計画

1. 計画基準年 該当なし
2. 計画かんがい方式 パイプライン
3. 計画用水系統



(1) かんがい用水

(第22表)

項目 系統名	種別	面積 (ha) 事業名			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
		農業用排水施設	計	普通期 計画平均 単位 用水量 (mm/日)	代かき期 計画代 かき単 位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)	1日当 計画平 均かん 水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (mm/日)	面積 (ha)	1日当 計画平 均かん 水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	計画平 均単位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)	平 均			最 大		
																			(m ³ /s)	
高柳の池	農業用水	5.0	—	5.0	—	—	5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

4. 水源計画

(1) 水利用計画

(第23表)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能量			不足量		水源依存量		損失率 : —
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場 利用可能量	純用水量	全不足水量	水源名	水量	
ため池	—	—	—	—	高柳の池	—	—	—	—	高柳の池	—	

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第24表)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接	事業名							
			農業用排水施設		計					
高柳の池	0.384	0	5.0	—	5.0	30.3	30.3	かんがい期 パイプライン 常時取水	—	

第4節	排水計画	該当なし
第5節	道路計画	該当なし
第6節	農用地造成計画	該当なし
第7節	洪水調節計画	該当なし
第8節	干拓計画	該当なし
第9節	農用地整備計画	該当なし

第10節 ため池改修計画

1. 堤体補強計画

(ア)のり面保護施設	堤体上流	ブロックマット・張芝
	堤体下流	なし
(イ)補強盛土工	堤体上流	置換盛土工
	堤体下流	なし
(ウ)基礎処理工	堤体上流	地盤改良工
	堤体下流	なし

2. 取水施設改修計画

取水工

取水施設	取水工φ150×3孔
底樋	底樋工φ600 (ゲート改修)
緊急放流孔	取水孔利用

3. 洪水吐改修計画

洪水吐	側水路型式 鉄筋コンクリート造
-----	-------	-----------------

(1) 計画基準雨量

(第25表)

計画 降雨	観測機関名	熊谷地方気象台	
	観測基準雨量	104.2 mm/hr (N=1/200) 有効降雨	洪水到達時間 t=32分
	計画根拠	本地区は、実測時間雨量データが得られるので、このデータを確率処理（岩井法）して算定した。（昭和元年～令和5年）	

(2) 計画洪水量

(第26表)

集水面積	直接	38.43 ha	合計 38.43 ha
	間接	0.00 ha	
計画 洪水 量	計算式	$Q_p = 1/3.6 \times r_e \times A$ (200年確率ピーク洪水量)	流域面積/貯水面積=38.4ha/1.2ha=32>30 よりため池の貯留効果を考慮できない。
	流出率	$f_p = 0.690$	
	洪水量	$Q_p = 1/3.6 \times 110.26 \times 0.384 = 11.76 \text{ m}^3/\text{s}$	
	設計洪水量	$Q_o = 1.2 \times Q_p = 14.11 \text{ m}^3/\text{s}$	
	貯留効果考慮後	なし	

4. 管理施設改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節	用水施設	該当なし
第2節	排水施設	該当なし
第3節	道路及び索道	該当なし
第4節	農用地造成	該当なし
第5節	洪水調節施設	該当なし
第6節	干拓施設	該当なし
第7節	農用地整備施設	該当なし

第8節 ため池改修施設

1. 貯水池

(第27表)

名 称	高柳の池				位 置	本庄市児玉町高柳地内		
	形 式	流域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量(千m ³)	備 考
堤 体	傾斜 遮水ゾーン型	0.384	9.2	93.0	-	4.0	30.3	
取水施設	形 式	取水量 (m ³ /s)	斜樋口径 (mm)	底樋口径 (mm)	備 考			
	斜樋	0.078	150	600				
洪水吐	形 式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備 考				
	側水路式	14.11	18.40					

2. 堤体補強施設

- (1) 法面保護施設
 - ・堤体上流側 ……………ブロックマット
 - ・堤体下流側 ……………張芝

- (2) 補強盛土工
 - ・堤体上流側 ……………置換盛土工
 - ・堤体下流側 ……………なし

- (3) 基礎処理工
 - ・堤体上流側 ……………なし
 - ・堤体下流側 ……………なし

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手予定 令和8年度

完了予定 令和10年度

第8章 環境との調和への配慮

第1節 環境配慮する地域の状況

本地区は、本庄市田園環境整備マスタープラン（平成25年策定）において、「環境配慮区域」に位置付けられている。

1. 広域的な環境特性

本地区は平坦で安定した地盤を有しており、北部の利根川沿いには肥沃な沖積平野が広がり、南西部は陣見山などの500m級の山々が連なっており、河川も多く、南北から東北に流れる神流川、女堀川、小山川、志戸川などが流れている。

2. 地域の状況

小山川・女堀川沿いの水田地帯である。高柳の池は本庄市の南西部に位置し、周辺は緑豊かな自然環境に恵まれている。

第2節 環境配慮目標及び基本的な考え方

本地区は、本庄市田園環境整備マスタープラン（平成25年策定）において、「環境配慮区域」に位置付けられており、環境に配慮した土地改良施設整備が必要とされている。

地域の防災を図る目的を達成しつつ、ため池周辺の自然環境や景観への影響を軽減することを基本とする。

第3節 環境配慮の整備内容

1. 工事に際しては、工事時の環境への負荷を回避する為に、汚濁水や工事土砂が水路や河川に流入しない対策を徹底する。また、渇水期に工事を行うなどにより工事時の汚濁水の発生を抑えることができる。
2. 工事にあたっては、早朝、夜間の工事は行わない。
3. 工事車両は騒音対策、振動対策、排気ガス対策のされた機種を導入して周囲への配慮を徹底する。
4. 天然記念物ほか希少生物が確認されているため池ではないが、工事中必要に応じて、一時的に動植物を捕獲、移動して、生息・生育空間の確保に努める。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第28表)

事業名 区分		農業用排水施設						備 考
		数	量	金 額				
	堤体工	1	式	37,900	千円			消費税10%を含む
	洪水吐工	1	式	71,600	千円			
	取水設備工	1	式	26,800	千円			
	仮設費	1	式	56,900	千円			
	小計			193,200	千円			
	測量試験費	1	式	25,300	千円			
	用地補償費	1	式	1,200	千円			
	工事雑費	1	式	4,800	千円			
	計			224,500	千円			
	地方事務費	1	式	11,000	千円			
	合 計			235,500	千円			
(関 連 参 考 事 業)			—		—			該当なし
			—		—			
			—		—			
			—		—			
		計		—		—		

第11章 効 用

(第29表)

区 分	項 目	年総効果(便益)額 (千円)	現況年総農業所得額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
	食料の安定供給の確保に関する効果	△ 137	—	—	維持管理費節減効果
	農業の持続的発展に関する効果	14,873	—	—	災害防止効果(農業関係資産)
	農村の振興に関する効果	3,577	—	—	災害防止効果(一般資産)
	多面的機能の発揮に関する効果	9,695	—	—	災害防止効果(公共資産)
	計	28,008	—	—	

総費用便益比＝総便益額(現在価値化)÷総費用(現在価値化)＝570,547千円÷305,384千円＝1.86 ≥1.0

第12章 関連する事業

該当なし

第13章 現況・計画図面

別紙添付のとおり

図面目録

	図面の名称	枚数
1.	位置図	1
2.	計画平面図	1
3.	堤体標準断面図	1
4.	洪水吐一般図	1
5.	取水施設構造図	1

高柳の池地区 位置図

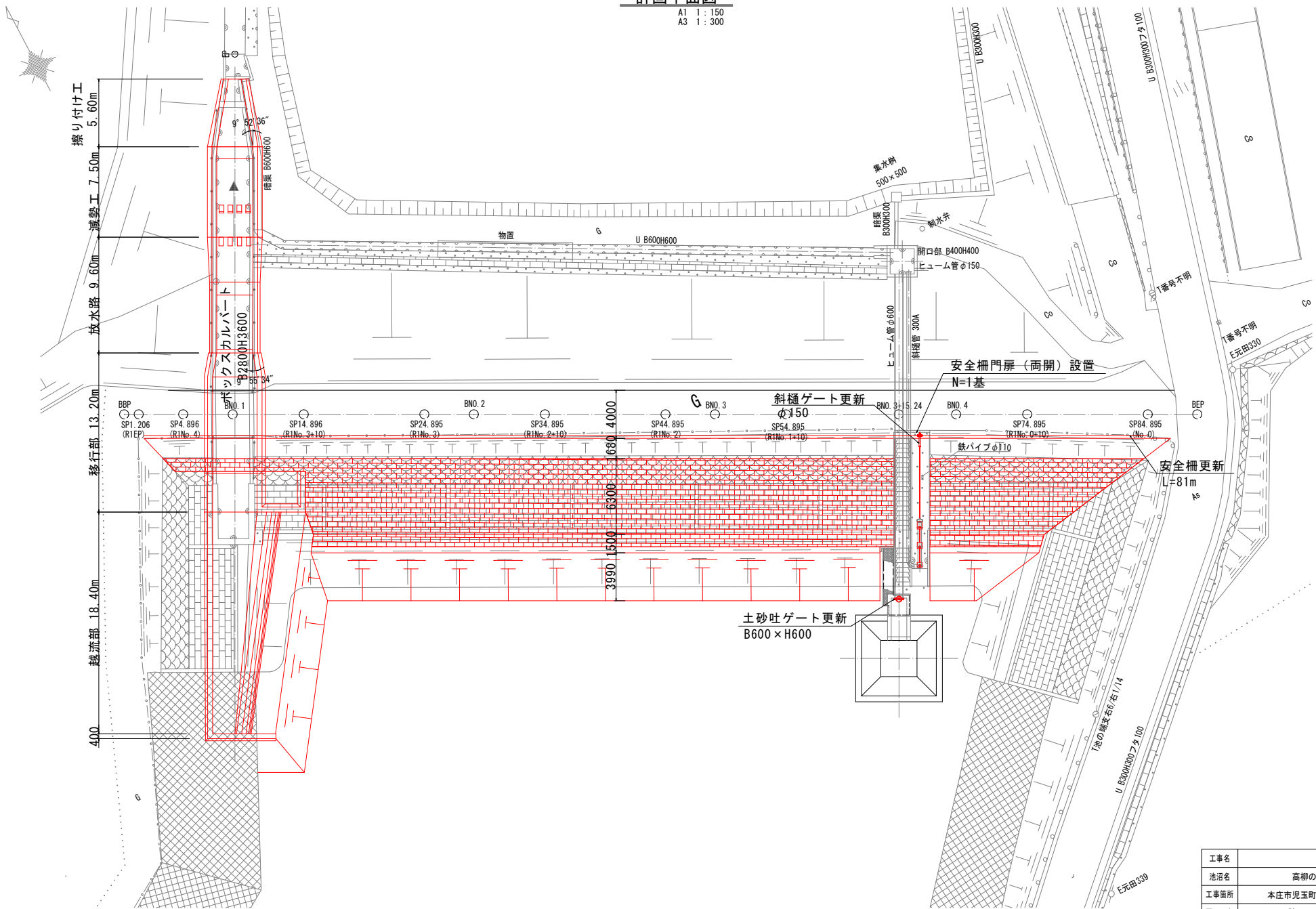


図面の名称	位置図
番号	1
埼玉県	

- 受益地(5.0ha)
- 高柳の池

計画平面図

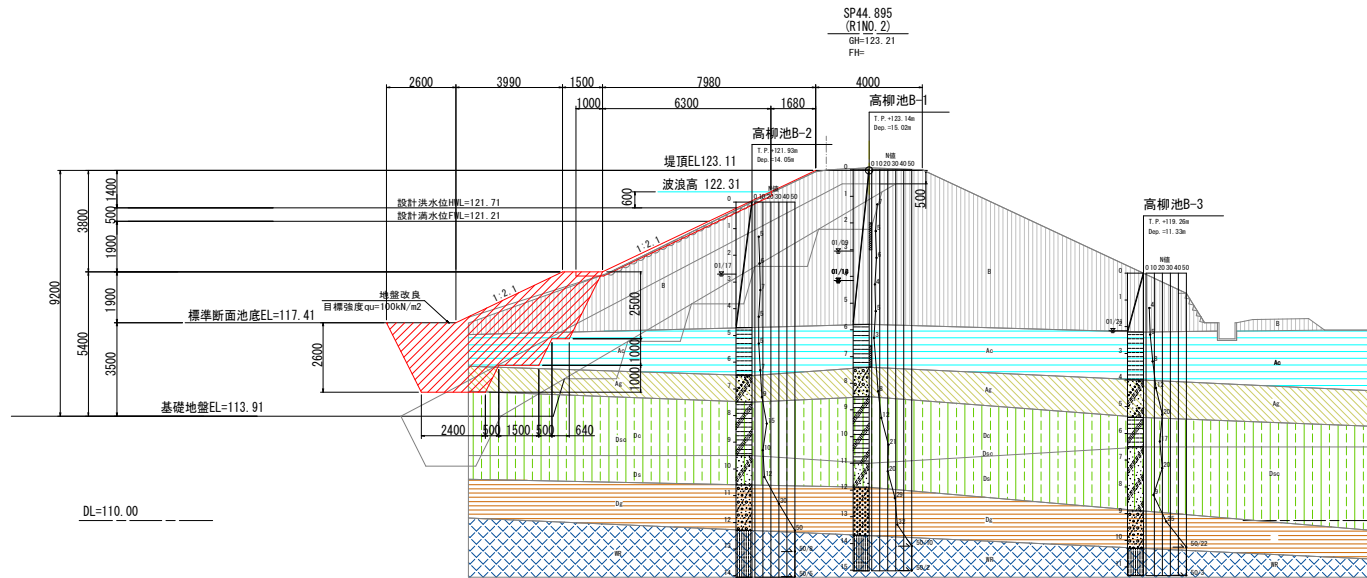
A1 1:150
A3 1:300



工事名		
池沼名	高柳の池	
工事箇所	本州市児玉町高柳地内	
図面名	計画平面図	
縮尺	1:150	図面番号 2
埼玉県		

堤体標準断面図

A1 1:100
A3 1:200

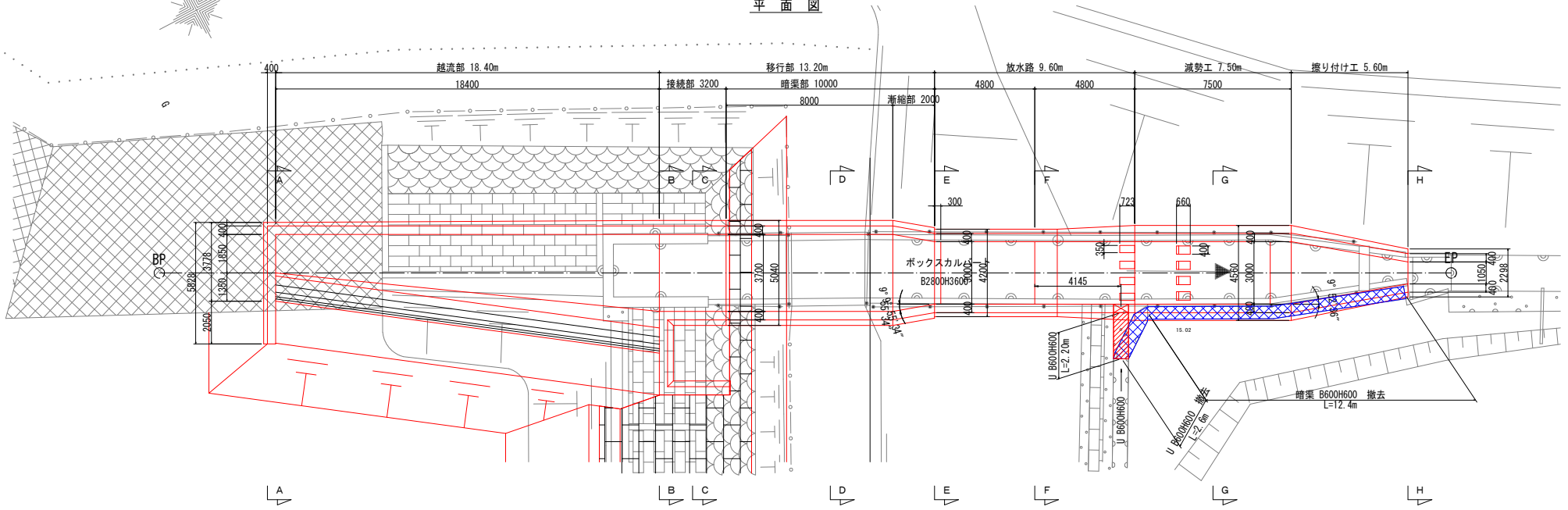


工事名		
池沼名	高柳の池	
工事箇所	本庄市児玉町高柳地内	
図面名	堤体標準断面図	
縮尺	1:100	図面番号 3
埼玉県		

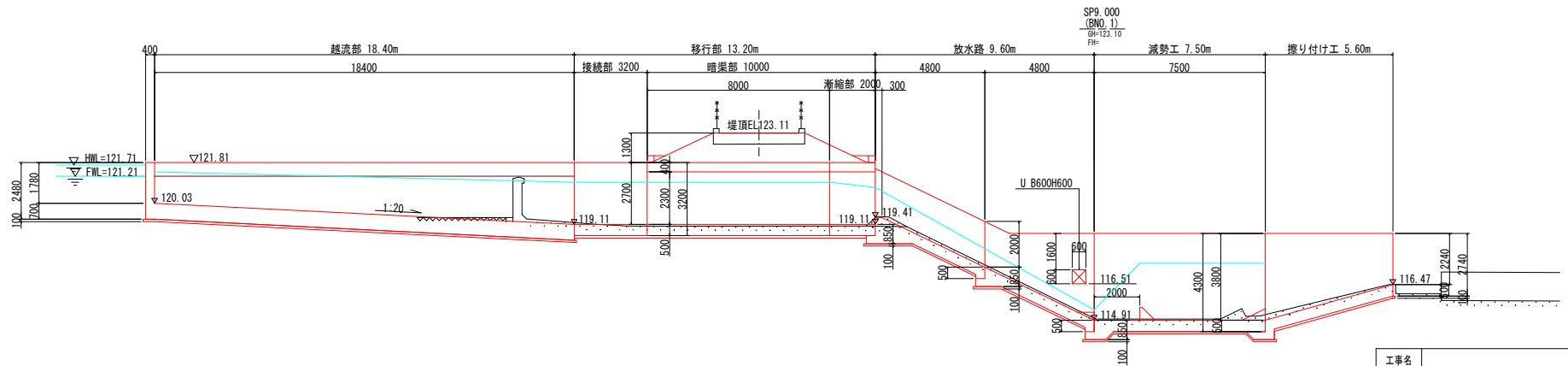
洪水吐一般図

A1 1:100
A3 1:200

平面図



縦断面図



DL=110.00

工事名	高柳の池		
池沼名	高柳の池		
工事箇所	本庄市児玉町高柳地内		
図面名	洪水吐一般図		
縮尺	1:100	図面番号	4
埼玉県			

